

田崎財団様

お世話になります。この度、奨学金をいただき英オックスフォードへ留学いたしました、原田龍夫と申します。貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。以下、私が体験いたしましたプログラムについて述べさせていただきます。

今回は、英オックスフォードの Sant. Antony College が主催する、International Politics Summer School への参加でありました。国際関係論で世界の Forerunner である Sant. Antony College に、世界およそ 25 カ国から 65 人程度が集まり、6つの地域(ヨーロッパ、ロシア、中東、ラテンアメリカ、アフリカ、中国)について、それぞれどれかのクラスに所属し、授業を受けました。また、全体で講義を受け、その上でディスカッションをするという時間も毎日設けられていました。

私は、China's Party State というクラスを受講し、今後の私のキャリアにおいて不可欠な視点となるであろう中国との関係について、中国の政治体制を中心に学びました。教鞭をとった Chris Mittelstadt 教授は、北京大学に7年間留学した中国政治のエキスパートであり、非常に印象的な授業を展開していました。特に、中央集権と思われる中国の政治が、実は fragmented なものであり、Local government が、Central government と、各レベルで存在する Party の両方から影響を受け、その結果、中央の政策がその通り実行されるとは限らない、という点に深く感銘を受けました。

今回、法学部の試験終了直後にオックスフォードに行き、世界の潮流について考え、同時に将来の日本を考える上で不可欠な中国という視点を得ることができたことは、ひとえに奨学金をくださった田崎財団様のおかげであります。この度は、誠にありがとうございました。

以下に、プログラム中の写真を添付いたします。プログラムでの集合写真、クラス別の集合写真、ディスカッション中の様子です。ぜひご覧になってください。

原田龍夫

